

蒲郡市男女共同参画情報紙

はばたき

特集 ● 仕事と家庭を両立できる

職場づくりを目指して



「ゆめ育て 人を育てる 共同参画」

(平成17年度 男女共同参画週間標語)

第8号
2005.9

～次世代育成支

少子化がこのままどんどん進むと、日本の経済や私たちの将来にさまざまな弊害が。今年4月1日「次世代育成支援対策推進法」の施行に伴って、行政や個人だけ届け出ることが企業に義務づけられました。これは男性を含めた働き方の見直し。「ファミリーフレンドリー企業」とは仕事と育児などの家庭生活を両立しながら働ける。認定された企業はそれを示すマークを広告や商品などにつけることができます。優秀な人材を確保したり、社員の能力を十分に発揮させ、良質で効率的な事業運営では、子育て支援策に取り組んでいる企業の具体的な例をご紹介します。

企業の具体的な取り組み例

育児短時間勤務

従来3歳までを、子どもが小学4年生になるまで延長。

フレックスタイム制度

出退勤時間を自由に調節。3歳までだったのを小学校就学前までに拡大。

看護休暇制度

年に10日間の子どもの看護休暇の創設。



託児施設の設置や運営

自社ビルの一部を認証保育所に提供。



ハローベビーホリデー

子どもの誕生から半年以内に連続5日間の有給休暇を男性社員に義務。育児経験を新商品開発に生かしてもらうのも狙いの一つ。

費用負担

保育所に入りやすい地域への引越し代や在宅勤務のための高速通信回線を引く費用の負担。

出産祝い金・職場復帰支援金

子どもの誕生時に出産祝い金を支給。出産後早く働きたい人には支援金として、子どもが3歳まで月5万円を支給。

有給育休制度

経済的な理由で取得できない男性社員のために、子どもが3歳になるまでに連続2週間の有給休暇の創設。

職場づくりを目指して

も **大事** にしたい！

支援対策推進法～

をもちます。

ではなく、仕事と子育ての両立を支援するための具体的な行動計画を立て、しをポイントにしています。

くことのできる制度があり、かつ実際に利用されている企業をいいます。

。企業のイメージアップや、ひいては働きやすい環境ということで、業の展開につながり、企業にとっても大変有益なものです。



実施している企業側の意見

企業メリット

お客さまの立場も価値観もさまざま。いろんな経験をつみ、幅広い価値観を仕事に生かすことが企業メリットになる。

人材の確保

人材の流動化、社員の忠誠心低下が進む社会情勢の中、[人を大事にする]という方針は、豊富な経験と高い技術を持つ人材の確保、生産性の向上につながる。

介護休業の充実

子育てだけでなく介護休業も充実させ、社員同士が「お互いさま」と思える環境をつくる。

スキルアップを支援

子育て中もバリバリ働きたい人が結構いることが調査で分かった。社員の意欲に応えることでスキルアップを支援したい。



蒲郡市内でも こんな取り組みが あります

市内の医療機関や飲料販売所では、院内及び社内に託児所を設置し、安心して働けるよう配慮がされています。

積極的な取り組みをしている企業的一方で、「企業に少子化対策のコストを負担させるのは疑問」というように意識に差があります。また、コスト面で不可能な中小企業がほとんどであることも事実です。

社会全体の働き方や生活スタイルの仕組みや考えを変えることが大切なことではないでしょうか。



協働のまちづくりをめざして



このたび、蒲郡市で、また東三河地域でも初となる女性市議会議長に就任された中野房子議員にお話を伺いました。

就任早々お忙しい中、気さくで飾らない率直なご意見を頂きました。

〔編〕聞き手:編集委員 〔中〕語り手:中野議員

〔編〕 議員活動をしていて“女性”であるために不都合なことは？

〔中〕 「私は私」というスタンスでやっているもので、特にそう感じたことはありません。女性としての「らしさ」は大切にしたいので、必要以上にこだわりはないですね。

〔編〕 議員をやめようと思ったこと、やっていて良かったと思うことは？

〔中〕 やめようと思ったことは一度もないですね。市民と接する機会がたくさんあって、議会や行政とのパイプ役となることができたと思います。市民の視点で捉えることが大事だと思うので、常にいろんな人と話をするようにしています。

〔編〕 議長として取り組みたいことや、議員としての重要課題は？

〔中〕 議会に新しいページが開かれるように努力したいですね。特に財政難といわれる今こそ、限られた予算を如何に効率よく運用するか、市民の知恵を市政運営に活かしていきたい。それには、協働のまちづくりが必要で、市民が気軽に参加できることが、今までの既成概念を打ち破ることにもなると思います。

女性が発言、主張できる場を増やすためにも、もっと女性議員が増えてほしいですね。



中野議員を囲んで

はばたき

第8号
2005.9

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

発行/蒲郡市 企画調整課

編集/「はばたき」編集委員

〒443-8601 蒲郡市旭町17-1

TEL 0533-66-1162 FAX 0533-66-1190

Eメール kikaku@city.gamagori.lg.jp

今年4月、「次世代育成支援対策推進法」が施行され、「育児・介護休業法」が改正されました。これらの法律によって、利潤追求第一の日本企業の仕組みが少しでも変化し、安心して子育てができる社会になるといいなと思います。これまでの働き方を見直し、徐々に家庭も仕事も大切にす生活が当たり前の社会になることを願います。

編集後記